

平成30年度事業報告

社会福祉法人ゆうゆう会

平成 30 年度 事業報告

〈総括〉

法人全体の収入は約 1.4 % 減となりましたが、人件費や修繕費等の支出が減少した事により、予算を上回る収支となりました。ただし収支差額は 29 年度に比べ約 9.4 % 減少しており、また「旧梅さんちの家」からの運転資金繰り入れなど、事業活動以外の収入があった事を考慮すると、予断を許さない状況です。

介護老人福祉施設においては、平成 30 年度介護報酬改定により介護報酬が上がったものの、退所者の急増で稼働率が低下し、収入が 0.7% 減となりました。ただし育児休暇取得者が 2 名発生したため人件費支出が減少し、収支において予算を上回る結果となりました。

通所介護においては、他事業所との競争の激化により、デイサービス「たんぽぽ」の稼働率が目標を下回り収入が 10.5 % 低下。予算を大幅に下回る収支となっております。また「桜さんちの家」では、収入が予算を僅かに下回りました。ただし去年度と比較すると約 9.9 % 増加しております。稼働率は若干下がったものの、要介護度の高い方の利用が増えた事が要因となりました。

人材育成及び確保においては、引き続き外部研修への参加を積極的に行い、専門性を高めるよう努めました。女性が働きやすい職場作りを推進し、育児休暇制度を 3 名の職員が活用。うち 2 名は 4 月に職場復帰を果たしております。

法人運営としては、本部が各部署とのミーティングを定期的に行い、連携を密にしながらサービス内容の充実化・効率化を進めました。また 10 月に施設長の交代がありましたが、入念な引継ぎにより、大きなトラブルなく経過できています。ただし、稼働率が不安定な事業所があり、更なるサービスの充実化、広報の強化が課題となる年でした。

❖ 平成 30 年度重点目標

1. 安定経営の確立

- 稼働率を維持できない事業所があり、収入は減少した。新加算については、手続きにかかる業務量の多さを考慮し、算定を見合わせた。
- 無駄の排除、価格の精査により、経費節減の徹底を図った。
- 法人会議等の定期開催により、法人機能の強化を図った。
- 各事業所との会議を定期的に開催し、運営面での改善を図った。

2. 人材育成の強化

- 「人間力のある介護者」、「チームケアに貢献できる介護者」、「OJT を実践できる介護者」の育成を目指し、効果的かつ計画的に教育・研修を進めた。

3. 建物・設備の老朽化対応

- 修繕計画に沿って、適切な時期に修繕を行った。
- 厨房の LED 化を行った。
- 継続して経年劣化している厨房機器の買い替えをした。
- その他、修繕・買い替え・新規購入等以下の通り。

4月	特養 2・3 階 無線 LAN 新規設置工事。
5月	特養プリンクラー設備不具合修理
6月	桜さんちの家浴室グレーチング部一式工事
8月	特養 LED 非常灯交換工事
9月	特養居室エアコン取替工事 ひかり苑前マンホール蓋交換
10月	居宅介護支援事業所 物損事故外壁工事 桜さんちの家 地デジアンテナ工事
11月	特養居室クロス張替工事 特養 1 階 無線 LAN 新規設置工事
2月	厨房プロセッサー修理
3月	厨房流し台水栓交換工事

4. 地域に向けた取り組み

- 地域自治を支える事務局を設置した。
- 地域と合同の盆踊り、餅つき行事を開催した。
- 「体操」、「研修会」、「サロン」、「突発的な場合の援助」を恒常的に行う「おとなり介護」において、地域後期高齢者の介護予防支援及び支援をした。
- 坂下四丁目自治会において、役員会開催時に学習室を提供し、書記として協力した。

〈法人運営〉

I. 理事会

理 事 定数 6 名
監 事 定数 2 名

◎理事会の主な審議事項

〈平成 30 年 5 月 14 日（月）〉

- ①平成 29 年度事業報告
- ②平成 29 年度決算報告
- ③平成 29 年度監事監査報告
- ④次期施設長任命
- ⑤通所事業所送迎車の購入

〈平成30年11月9日（金）〉

- ①補正予算
- ②旧「桜さんちの家」の今後

〈平成31年3月5日（火）〉

- ①平成31年度事業計画
- ②平成31年度予算
- ③特養ひかり苑・ショートステイ運営規程変更
- ④ケアマネージャーの資格取得・維持の支援
- ⑤リネン・給食業者の平成31年度継続
- ⑥旧「桜さんちの家」の今後

2. 評議員会

評議員 定数7名

◎評議員会の主な審議事項

平成30年6月13日（水）

- ①平成29年度事業報告
- ②平成29年度決算報告
- ③平成29年度監事監査報告

平成31年3月22日（金）

- ①平成31年度事業計画
- ②平成31年度予算

〈各事業所報告〉

【本部】

I. 事務局

- ①中核市への移行に伴い、適正・円滑に事務対応できた。
- ②管理徹底により無駄を排除し、支出の削減に努めた。
- ③必要時、求人広告等を出し、人材確保に努めた。育成については、計画的な新人教育を行い、外部研修への参加も積極的に進めた。また、ケアマネージャーの資格取得・資格維持においての支援制度を作成した。
- ④施設設備修繕を適切に行った。
- ⑤行政への情報提供、HPでの情報開示等、運営の透明性を確保した。
- ⑥地域自治会の役員として、役員会等に参加し、学習室の提供や書記を務める等の協力を行った。
- ⑦各部署との定期的な運営会議を開催し、業務効率、サービス内容の向上に努めた。

2. 職員の健康管理

健康診断	新入職員採用時健康診断
	定期健康診断 夜勤有り職員 5月・11月、夜勤なし職員 5月
	健康診断結果の報告

3. 防災管理・防災計画

- 防災管理者が中心となり、職員の防災に対する意識・知識の向上に努めた。
- 備蓄品点検／ひかり苑拠点・町会用共 平成30年5月
- 備蓄品補充／ひかり苑用、町会用共に6月・3月に補充
- 防犯訓練／平成30年6月 不審者侵入を想定
- 水害訓練／平成30年8月 荒川・新芝川決壊を想定
- 総合避難訓練／平成30年10月、出火元事務室を想定
- 総合避難訓練／平成30年3月 出火元洗濯場を想定
- 避難・夜間想定訓練／平成30年3月 夜間23時頃、調理室を想定

4. 地域活動

- 地域自治会の運営援助（自治会ニュース、行事パンフ等の作成、学習室の提供）等。
- 地域のニーズに気付き応えられるよう、地域住民の情報収集・法人の広報に努めた。
- 川口社協鳩ヶ谷支部独居高齢者昼食会の企画、場所・食事の提供を行なった。（ふれあい昼食会） 11月25日（日） 11:00～ 於：ひかり苑内 デイホームたんぽぽ
- 「おとなり介護2018」
 - 第1回 7月12日（木） 14:00～15:00
Let's 生き生き体操
 - 第2回 8月24日（金） 18:00～20:00
坂4自治会役員 暑気払い
 - 第3回 12月12日（水） 14:00～15:00
年忘れ・マジックショー

【施設部門】特別養護老人ホーム、ショートステイ

I. 介護部

①施設内研修に加え、外部研修への参加を行った。外部研修参加者は、会議等で発表を行った。

○OJT実績

褥瘡予防研修、感染症予防研修、看取り研修、事故防止研修、虐待防止研修、身体拘束廃止研修、ノロ・インフルエンザ予防研修等。

○外部研修

業務改善研修・摂取嚥下リハビリテーション研修・接遇研修・虐待防止研修・クレーム対応研修・チームリーダー研修・口腔ケア研修・感染症予防研修・中堅職員研修・初任者研修・介護の基礎知識研修・プレゼンテーション研修・福祉援助技術研修等。

②介護ソフト「ケア樹」を導入し、情報共有の強化、記録業務の効率化を図った。また、それに伴い、業務全体の見直しをした。

③非定期ながら、ラジオ体操・口腔体操・カラオケ等実施し、余暇活動の充実を図った。

④継続して各種委員会の質の向上に努めた。

○事故防止委員会

事故・ヒヤリハット報告のあったケースについて個別で検証し、再発防止に努めた。また事故防止用品の一元管理を行い、無駄のない利用につなげた。職員が原因の事故の半減を目指に掲げ、職員への啓発を続ける事で、それを達成した。

○身体拘束廃止委員会

身体拘束ゼロを目標とし、身体拘束者の解除、及び身体拘束ゼロを目指す体制づくりについて話し合いをした。年度内の解除には至らなかったが、本年度の5月13日に解除し、身体拘束ゼロを達成する予定である。

○排泄委員会

入居者に合わせたパットの選定、排せつ時間、コスト削減等については話し合った。また陰部洗浄の実施において内容の充実化を図った。

○育成委員会

育成担当職員を中心に、新入職員の育成の充実を図った。

○リクレ委員会

毎月の誕生会の開催、月に一度の行事計画、日々の体操・レクリエーションの計画を行った。

○給食委員会

利用者の変化に合わせた食材料や提供形態への対応協議、提供方法等の摺合わせ、利用者の嗜好調査、食器類などのチェック、行事食の企画等

○美化委員会

生活空間の美化や働きやすい環境の整備に取り組んだ。

○防災委員会

防災訓練の実施や、防災・防犯対応の見直し等に取り組んだ。

○スタッフ会議

隔月及び必要時に開催し、業務改善、入居者・職員の処遇の改善に取り組んだ。

⑤熱発者を早期発見できるよう、看護師による巡回等の強化を行った。

⑥時系列で入居者・利用者の事故情報が確認できるよう、介護ソフト「ケア樹」で事故・ヒヤリハット報告を行うようにし、効率的に周知・確認できる仕組みにした。

⑥ショートステイにおいて、川口市と川口市社協が推進する「緊急ショートステイ」の協定を結んだ。年度内に「緊急ショートステイ」の依頼はなかったが、居宅支援事業所や包括支援センターからの依頼で、緊急ショートステイの受け入れを行った。

〈その他〉

○1月に特養でインフルエンザが発生。タミフル予防投与、感染拡大予防、保健所・行政への連絡等、院長と相談のうえ対応し。重症者の発生なく終息した。なおインフルエンザ対応中、ショートステイ受け入れを停止している。

○ケーキバイキング、すし職人による握り寿司の提供等、毎月2回以上行事食を取り入れた。

特別養護老人ホーム・ショートステイ 平成30年度行事

○誕生会 毎月1回

○花見外出行事 ○母の日ケーキバイキング

○父の日を祝う会 ○七夕行事

○納涼祭 ○長寿会

○クリスマス会 ○ひな祭り行事

○お楽しみ会

※インフルエンザ発生の為、予定していた獅子舞行事・節分行事は中止した。

2. 看護部

①引き続き、入居者の健康状態の維持や悪化予防のための観察とアセスメントを行い、多職種連携のもと看護を行った。

○感染症委員会

定例・緊急委員会、年4回開催。

○褥瘡委員会

定例褥瘡予防委員会を、年4回開催。

入居者の皮膚の状態を確認し、エアマット・低反発・高反発マットの使用管理、ハイリスク者の褥瘡対策を立て、評価し、予防に努めた。

○看取り委員会
定例年4回開催。
看取り対応の評価や充実化に取り組んだ。

平成30年度ホーム入居者数（54床）

月	人数平均／月	利用率
4月	52名	96%
5月	52名	96%
6月	50名	94%
7月	49名	92%
8月	52名	96%
9月	49名	92%
10月	49名	92%
11月	50名	94%
12月	50名	93%
1月	45名	85%
2月	47名	88%
3月	46名	86%
平均	50名	92%

※平成29年度平均94%

平成30年度入退所等

入所相談件数／48件
入退所件数／入所24件、退所27件
入所判定委員会／13回
入院者数／40名
平均入院日数／18.8日
看取り件数／16名

平成30年度 ショートステイ利用者数（6床）

	人数平均／日	稼働率
4月	6.0	99%
5月	6.1	102%
6月	6.7	116%
7月	7.0	117%
8月	5.9	99%
9月	4.6	77%
10月	5.0	83%
11月	5.3	88%
12月	4.7	78%
1月	3.5	59%
2月	4.3	72%
3月	4.8	81%
平均	5.3	89%

平成29年度平均87%

【在宅部】デイサービス たんぽぽ・桜さんちの家

①稼働率の安定

在宅部会議を月に1回開催し、稼働率の把握、新規利用者獲得に努めた。

平成30年度「たんぽぽ」稼働率

	稼働率
4月	65%
5月	65%
6月	70%
7月	72%
8月	74%
9月	73%
10月	72%
11月	71%
12月	68%
1月	68%
2月	67%
3月	69%
平均	70%

※平成29年度平均72%

平成30年度「桜さんちの家」稼働率

	稼働率
4月	63%
5月	69%
6月	70%
7月	73%
8月	72%
9月	71%
10月	73%
11月	74%
12月	78%
1月	72%
2月	62%
3月	53%
平均	69%

※平成29年度平均71%

②利用者満足の向上

利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した生活を営むことができ
るよう、「自立支援」「尊厳の保持」を基本にサービスを提供した。

③職員の資質向上

OJT・外部研修の機会を確保し、職員の資質の向上に努めた。

○OJT

事故防止研修、感染症予防研修（食中毒・インフルエンザ・ノロウイルス）、

高齢者虐待・身体拘束廃止研修、緊急災害対策研修、苦情対応研修、認知症対応研修

○外部研修

人事管理者研修・口腔ケア研修

④サービスの充実

○体力測定の実施等、リハビリテーション機能を強化した。（たんぽぽ）

○引き続き、朝食提供や買い物支援等、保険外サービスを提供し、サービス内容の充
実化を図った。（桜さんちの家）

⑤地域への展開

近隣住民を交えた餅つき大会を開催した。（たんぽぽ）

*その他

〈行事等〉

4月	お花見	5月	しょうぶ湯、母の日の祝い
6月	父の日の祝い	7月	七夕祭り
8月	夏祭り	9月	お月見団子作り、敬老会
10月	ハロウィン、運動会	11月	紅葉狩り、文化祭
12月	クリスマス、餅つき、ゆず湯	1月	初詣、獅子舞鑑賞、書初め
2月	節分豆まき	3月	ひな祭り

○桜さんちの家／
運営推進会議 平成 30 年 9 月 7 日、平成 31 年 3 月 8 日

居宅介護支援事業所ひかり苑

開設 5 年目を迎えるに引き続き、要支援者から在宅での看取りケースとなる重度要介護者まで、住み慣れた自宅でその人らしい自立した生活が継続できるよう、また介護者に過度の負担がかからぬよう、利用者、家族の体調、生活状況、生活上の問題点を確認しながら支援を行った。請求実績は、前年度とほぼ変わらず。

□ ケアマネジメントの充実

- ・利用者、家族との信頼関係を構築することに努めた。
 - ・アセスメント、サービス担当者会議、モニタリング、再アセスメントを適切に実施し、自立支援の理念に沿った介護計画を作成した。
- 要介護状態から、要支援へ改善や、要支援者の重度化予防も図れている。

□ 関係者との連携強化

他職種との連携、共同の強化を図った。
ターミナル支援の件数が増えたが、多職種連携により自宅での看取り支援も実施できた。

□ 地域ケア会議への参加

外部会議出席 5 回
会議企画運営への協力も行っている。

□ 専門職としての資質の向上

外部研修 10 回
内部会議 3 回
専門員研修Ⅱ 受講（1 名）

* その他

新規契約者／29 人、契約終了者数／19 人

実施指導（川口市福祉監査課）

平成 30 年 9 月 26 日

「指定基準及び介護報酬算定基準等の適合状況について」指導あり。
「契約書内容」について 2 カ所修正の指摘あり。
改善したうえで報告・書類提出をした。運営、業務内容については、指摘事項なし。